

PARNASSIUS

No. 33

目 次

洲本市由良小学校付近のチョウ類.....	堀田 久.....	1
ヒメカマキリの採集例.....	竹田 俊道.....	3
南淡町灘大川でスミナガシを得る.....	藤平 明.....	3
常隆寺山でシノノメシャチホコを採集.....	登日邦明.....	3
ウスイロコノマチョウ阿万に産す.....	藤平 明.....	4
淡路のハンミョウ採集記録.....	前川和昭.....	4
クロモンハイイロノメイガ先山に産す.....	藤平 明.....	4
煙島の双翅類採集記録若干.....	登日邦明.....	5
常隆寺山でヒナカマキリを採集.....	登日邦明.....	5
ラクダムシを洲本市山手で採集.....	登日邦明.....	6
ウスタビガの採集記録.....	登日邦明.....	6

淡 路 昆 虫 研 究 会

ENTOMOLOGICAL ASSOCIATION OF AWAJI

HYOGO JAPAN
March 1988



洲本市由良小学校付近のチョウ類

堀 田 久

筆者は、本誌前号でも述べたように、昭和59年4月より洲本市立由良小学校に勤務している。前号では、チョウ類以外の昆虫について記録したので、ここでは由良小学校内及びその付近で確認したチョウ類について、報告しておきたい。

アゲハチョウ科

1. ジャコウアゲハ *Atrophaneura alcinous* Klug

春型は4月下旬から、夏型は6月下旬から出現するがあまり多くない。

2. アオスジアゲハ *Graphium sarpedon nipponum* Fruhstorfer

夏型はかなり多く、校舎内へ入ってきたり、プールサイドへ吸水にくることがある。

3. ナミアゲハ *Papilio xuthus* Linnaeus

4. キアゲハ *Papilio machaon hippocrates* C. & R. Felder

個体数は少ない。

5. クロアゲハ *Papilio protenor demetrius* Fruhstorfer

個体数が多く、校舎内へもよく入ってくる。

6. ナガサキアゲハ *Papilio memnon thunbergii* von Siebold

春型は少ないが、夏型は多く10月上旬まで見られる。

7. モンキアゲハ *Papilio helenus nicconicolens* Butler

春型は少ないが、夏型はかなり多い。

8. カラスアゲハ *Papilio bianor dehaanii* C. & R. Felder

シロチョウ科

1. キチョウ *Eurema hecabe mandarina* de l' Orz

2. ツマキチョウ *Anthocharis scolytmus* Butler

個体数は少ない。

3. モンキチョウ *Colias erate poliographus* Motschulsky

4. スジグロシロチョウ *Pieris melete* Menetries

5. モンシロチョウ *Pieris rapae crucivora* Boisduval

シジミチョウ科

1. ムラサキシジミ *Narathura japonica* Murray

学校の近くの神社で確認したが、個体数は少ない。

2. ベニシジミ *Lycaena phlaeas daimio* Seitz

3. ヤマトシジミ *Pseudozizeeria maha argia* Menetries

4. ウラナシジミ *Lampides boeticus* Linnaeus

9月から10月にかけて個体数が多くなる。

5. ルリシジミ *Celastrina argiolus ladonides* I' Orza

6. ツバメシジミ *Everes argiades hellotia* Menetries

ウラギンシジミ科

1. ウラギンシジミ *Curetis acuta paracuta* de Diceville

テングチョウ科

1. テングチョウ *Libythea celtis celtooides* Fruhstorfer

早春に越冬した個体が見られるが、あまり多くない。

マダラチョウ科

1. アサギマダラ *Parantica sita niphonica* Moore

タテハチョウ科

1. ゴマダラチョウ *Hestina japonina* C. & R. Felder

5月末から6月、7月末から8月に見られるが少ない。

2. コミスジ *Neptis sappho intermedia* W. B. Pryer

3. キタテハ *Polygonia c-aureum* Linnaeus

4. アカタテハ *Vanessa indica* Herbst

5. ヒメアカタテハ *Cynthia cardui* Linnaeus

6. ヒオドシチョウ *Nymphalis xanthomelas japonica* Stiche

6月に見られるが、個体数は少ない。

7. ルリタテハ *Kaniska canace no-japonicum* von Siebold

8. メスグロヒョウモン *Damora sagana ilona* Fruhstorfer

9. ツマグロヒョウモン *Argyreus hyperbius* Linnaeus

ジャノメチョウ科

1. ヒメウラナミジャノメ *Ypthima argus* Butler

2. ヒメジャノメ *Mycalesis gotama fulginia* Fruhstorfer

3. コジャノメ *Mycalesis francisca perdiccas* Hewitson

4. ヒカゲチョウ *Letha sicelis* Hewitson

5. サトキマダラヒカゲ *Neope goschkevitschii* Menetries

セセリチョウ科

1. コチャバネセセリ *Thoressa varia* Murray

2. オオチャバネセセリ *Polytremis pellucida* Murray

3. チャバネセセリ *Pelopidas mathias oberthuri* Evans

個体数は多くないが、校庭の花に飛来する。

4. イチモンジセセリ *Parnara guttata* Bremer & Grey

夏から秋にかけて個体数が多くなる。

ヒメカマキリの採集例

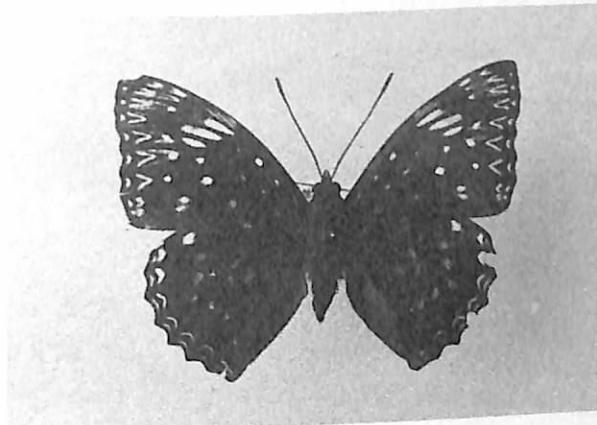
1987年9月14日 諭鶴羽ダム付近において、ヒメカマキリ (*Acromantis japonica* WESTWOOD) 1♀を採集した。島内でのヒメカマキリは、さほど珍しい種ではないと思われるし、筆者はこれまでにも何度か、他の地区でも目撃しているが、確かな記録は今回が初めてである。

(竹田俊道)

南淡町灘大川でスミナガシを得る

今年は夏休みの初めに集中的に灘の大川へ採集にでかけてみた。その結果、8月3日、8月10日、8月16日の3日間にそれぞれ各1頭のスミナガシを得た。(写真は8月3日採集のもの)

(藤平 明)



南淡町灘大川産スミナガシ。

常隆寺山でシノノメシャチホコを採集

昨年(1987)8月27日に常隆寺山(alt. 515m)の頂上近くでライト・トラップを行った際、シャチホコガ科のシノノメシャチホコ *Peridea elzet* Kiriaikoff を1頭採集したので報告しておく。淡路島から本種が記録されるのは今回が初めてである。

Mt. Joryujisan, 18, 27. VIII. 1987 (K. Tobi leg)

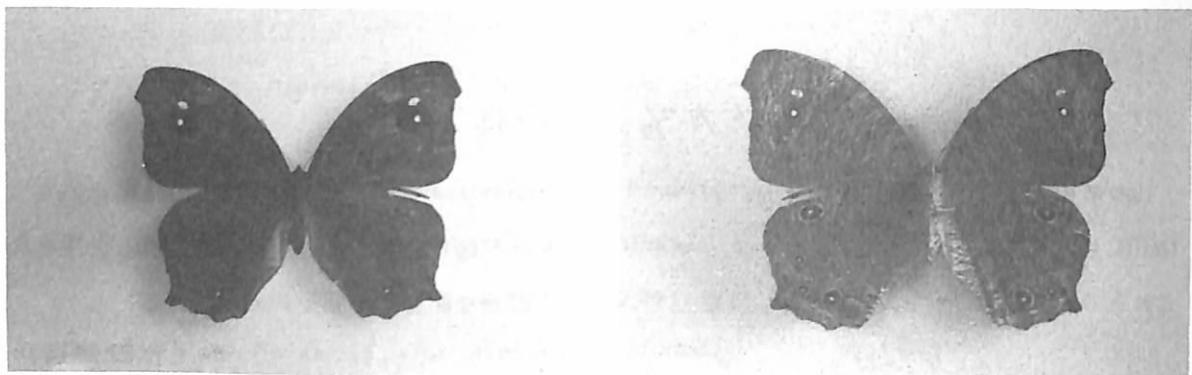
尚、標本は筆者が保管している。

(登日邦明)

ウスイロコノマチョウ阿万に産す

1987年9月13日 南淡町阿万上町の自宅裏にてウスイロコノマチョウ1頭を採集した。早朝で太陽が当たりだしてすぐの時で、弱々しく飛翔し、飛び立った後真ぐ草の上に翅を広げて止まった。

(藤平 明)



阿万産ウスイロコノマチョウの表(左)と裏(右)。

淡路のハンミョウ採集記録

島内では、これまで下記の4例を採集しているので報告しておく。

1. ハンミョウ *Cicindela japonica* Thunberg

洲本市安乎浜, lex., 24. VIII. 1979

2. ニワハンミョウ *Cicindela japone* Motschulsky

洲本市安乎浜, lex., 5. V. 1980

3. コハンミョウ *Cicindela specularis* Chaudoir

南淡町阿万, lex., 16. VIII. 1986

吹上浜の青年の家の敷地内のコンクリートの通路上で昼間発見。一頭のみで他には目撃しなかつた。

4. ヒメハンミョウ *Cicindela elisae* Motschulsky

洲本市安乎浜, lex., 12. VI. 1985

尚、標本はすべて筆者が保管している。

(前川和昭)

クロモンハイイロノメイガ先山に産す

クロモンハイイロノメイガ *Heterocnephes apicipicta* Inoue が阿万で得られた事は (May. 16. 1961, Jul. 27. 1973) 既に報告したが、先山の山頂付近でも 1987年6月14日に1頭を採集した。

(藤平 明)

煙島の双翅類採集記録若干

淡路島の南西、南淡町の福良湾に浮ぶ煙島の昆虫類については、筆者が堀田久氏や竹田俊道氏らの協力を得て既に47種を記録したが(煙島の自然、1982、南淡町教育委員会刊)、ここにその際未同定であった双翅類を若干、記録しておきたい。尚、同定は名城大学農学部の岡留恒丸教授にお願いした。厚くお礼申し上げる。採集者はすべて筆者で、標本も筆者が保管している。

Bibionidae ケバエ科

1. *Pleus* sp.

Is. Kemurijima, 1♂, 27. V. 1980

Dolichopodidae アシナガバエ科

2. *Sciapus neblosus* Matsumura マダラアシナガバエ

1♀, 14. VI. 1980

3. *Sciapus* sp. 1

1♂, 30. V. 1980

4. *Sciapus* sp. 2

1♀, 6. VII. 1981

Anthomyiidae ハナバエ科

5. *Fucellia apicalis* Kertesz ノトツマグロイソバエ

2exs., 20. III. 1981

6. *Fucellia* sp. 1

2♀, 21. II. 1981

7. *Fucellia* sp. 2

(登日邦明)

1♀, 20. III. 1981

常隆寺山でヒナカマキリを採集

ヒナカマキリ *Iridoptyx maculatux* Shiraki は体長15~21mmと極めて小型で、体色も褐色の地色に黒褐色の小斑紋を散布し目立たないので、人目に付くことがほとんどなく、淡路からはこれまで洲本市の先山と三熊山(石原ほか, 1973)の他、付属島嶼の煙島(煙島の自然、1982)から記録があるのみであった。

筆者は昨年(1987)8月28日に淡路島北部の常隆寺山(alt. 515m)へ登った際、山頂近くで路上を歩いている本種を採集したので記録しておきたい。標本は筆者が保管している。

Mt. Joryujisan, 1ex., 28.VIII. 1987 (K. Tobi leg)

尚、竹田俊道氏によると、標本は存在しないが、諭鶴羽山(alt. 608m)でスイーピングを行うと比較的多く採集できるとの事である。

(登日邦明)

ラクダムシを洲本市山手で採集

ラクダムシ *Inocellia japonica* Okamoto は、脈翅目ラクダムシ科に属する特異な昆虫で、淡路島からはこれまで洲本市安乎町(堀田、1978、本誌No.18)から記録があるのみであった。

筆者は昨年(1987)5月16日に、洲本市山手の路上で飛翔していた本種を1頭採集したので、記録しておく。採集地は三熊山や曲田山から程遠くないところで、恐らく照葉樹林が残存するこれらの山に発生地があるものと思われる。

Yamate, Sumoto, 1ex., 16. V. 1987 (K. Tobi leg)

尚、標本は筆者が保管している。

(登日邦明)

ウスタビガの採集記録

ヤママユガ科のウスタビガ *Rhodinia fugax* (Butler) はこれまで淡路島から記録されていなかったが、筆者の手元に友人の坂口 操氏が1968年11月1日に洲本市鮎屋で採集された1♂の標本があるので公表しておく。Aiya, Sumoto, 1♂, 1. XI. 1968 (M. Sakaguchi leg.)

尚、堀田 久氏によると、1986年12月に洲本市安乎町北谷の雑木林でコナラに付いた本種の繭を5個余り目撃し、1987年12月20日には、前年と同じ場所に生えるクリで繭2個と多数の卵を確認したとの事で、筆者もそのうちの繭1個とその周辺に産卵された卵を見せていただいたので、併せて記録しておきたい。

(登日邦明)

編 集 後 記

- ▽ 何かと雑用が多く、また大幅に発行が遅れてしまいました。お詫びします。
- ▽ 今号は長編の原稿が少なく、短報特集の様になり、ページ数も少なくなってしまいました。しかし、内容は結構バラエティーに富んでいると思います。
- ▽ 次号は9月に発行予定です。奮って研究成果をお寄せ下さい。

(T)

PARNASSIUS №33
1988年3月1日印刷 1988年3月4日発行
編集者 登日邦明 発行所 淡路昆虫研究会
〒656-21 兵庫県津名郡津名町大町畠235 登日方
郵便振替 神戸7-49591
印刷所 れいめい社
〒656 兵庫県洲本市本町5丁目1-24

